

2021 年度実施概要

学校名

三重県鳥羽市立答志小学校

採択活動名

郷土を再認識し、発信する海洋教育

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 海となかよし	1年	生活
2. 答志島の自然を守ろう！	3・4年	総合
3. しらすが私たちのもとに届くまで	5年	社会・総合
4. 海の環境問題を調べよう	6年	総合

取り組みの概要

答志小学校では、昨年度から海をテーマにした学習活動を「海を知る」「海に親しむ」「海を守る、漁業を守る」「海を利用する」活動に分け、学年ごとの系統表、生活科や総合的な学習など教科との関連についてもまとめた。今年度は、複式学級でも対応できるように系統表、教科との関連について見直し、全教職員で共通理解し、学習活動を行ってきた。コロナ感染症対策を行う中、地域で水揚げされた魚介類を食材として料理教室を行う「食のフェスタ」を実施した。「ところてんづくり」や「ノリやワカメを使った調理実習」をおこなった。地元の漁業を、食につなげていくことの大切さを実感した。



またこれまでの活動の積み上げから、稚魚放流の手伝いをしたり「日本の水産業としての漁業」として答志の漁港や市場を見学したり調べ学習をしたり、継続した学習を展開することができた。特に5年生では、「しらすが私たちのもとに届くまで」と題して、答志のバッチ網漁を探究した。そして学習発表会だけでなく、鳥羽市の ZOOM 交流会で発信することができた。また、「干物づくり」「わかめの刈り取り」等の体験的な活動は、これまでの学習活動を発展させて実施することができた。体験だけでなく、ワカメの刈り取り方法をロイロノートにまとめ、5年生に伝えるなど発信力の向上に努めた。



今年度の新しい学習内容の視点として、環境教育が挙げられていた。3・4年生は、「答志島の自然を守ろう」と題して、答志の浜や町の中のプラスチックごみについて調べることから始めた。マイクロプラスチックを探したり、問題点を調べたりした。そして、答志島からプラスチックごみを無くす方法や答志島の自然を守る方法を考えた。3・4年生は、ふるさと学習もリンクして、学習してきた内容まとめ「島の子ガイド～がいええ隊～」として、島内にお客さんを招いて発表することができた。



このような活動をとおして、海の恵みをはじめ、地域の魅力を見つめなおす機会とし、郷土愛を育んできた。

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)